

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2020.2

vol.
60

巻頭インタビュー

富士山の魅力に触れる キッカケづくり

住友林業株式会社 サステナビリティ推進室長

飯塚優子さん

マックスバリュ東海株式会社様、
ハーゲンダッツジャパン株式会社様からの寄付受納

富士山をもっとキレイに! 令和元年度 第2回ごみ減量大作戦

富士山エコレンジャー養成研修と今年度上半期の活動報告会

外来植物除去作業を行う際に御活用下さい!

新しい募金返礼品(手拭い)のデザインが決定しました!

「ふじさんネットワーク」会員募集中!

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

2020.2
vol. 60

Welcome



Join Us

「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費・年会費 無料

特典

- 「ふじのくにネットワーク」の冊子が届きます
- 登録するとメールマガジンが届きます
- シンボルマークが使えます



「ふじさんネットワーク」の取り組みなどは
ホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

300円からの寄付で
ピンバッジがもらえます!

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高め
てもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付
を募るとともに、富士山ピンバッジを配布します。

富士山の雲シリーズ THE CLOUD SERIES

■1セット4個組(大きさ:各直径32ミリメートル) ■1口:1,000円以上

直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、連絡をした上でお願いします。募金と同時にピンバッジをお渡しします。

送付希望: 郵便、電話、FAX又はメールで[1]-[4]の事項をお知らせください。

[1]-名前 [2]-住所 [3]-電話番号 [4]-希望するピンバッジの種類・個数
振込用紙を送付します。振込の確認ができしだい、ピンバッジを送付します。
(振込手数料・送料は不要)



こちら
も
よろしく!

SAVE Mt.FUJI

■1個(大きさ:各直径26ミリメートル) ■1口:300円以上

花シリーズ

■1セット5個組(大きさ:各直径26ミリメートル) ■1口:1,000円以上



ふじさんネットワーク 2020年2月 vol.60

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-2963 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fuj@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 544団体・個人(R2.2.1現在)

※本書の作成には、マックスバリュ東海株式会社、及びハーゲンダッツジャパン株式会社からの寄附金が使われています。



▲社員ボランティア活動の集合写真

住友林業株式会社
サステナビリティ推進室長
飯塚優子さん

富士山の魅力に触れる
キッカケづくり

入会のきっかけと富士山
「まなびの森」について

もともと富士山「まなびの森」の企画懇談会のメンバーに「ふじさんネットワーク」の初代会長である土隆一先生が入ってくださっていて、その縁から「ふじさんネットワーク」の創設時から企業メンバーになっています。

富士山「まなびの森」は、1996年に関東地域南部を襲った台風17号により、大きな被害を受けた富士山麓に広がる国有林をもとの豊かな森に戻すため、1998年に住友林業の設立50周年の記念事業のひとつとして取り組みを始めた自然林復元のプロジェクトです。当時国有林を借り受けて民間の企業が活動するという事例はほとんどありませんでした。「国有林を使わせて頂くのに、企業の宣伝ととられるようなことが万が一にもあったら申し訳がないので、企業名は使わない」という意図から「まなびの森」という名称を用い、あえて住友林業の名前を入れていません。毎年開催する企画懇談会では、様々なステークホルダーの皆さんに関わっていただいて「みんなであつて



▲インタビューに応じる飯塚室長(奥)と「まなびの森」管理人の沢田氏(手前)

これから先、ボランティア活動はより多くのステークホルダーとの連携が期待されています。そうなる

継続的に活動参加者を確保するために

れば」と思うようになりました。そんな時に、「ふじさんネットワーク」が主催の富士山勉強会で「まなびの森」の活動を発表する機会を頂きました。以来、より積極的に関わってきた結果、「ふじさんネットワーク」との距離感がとても近くなり、団体としての「ふじさんネットワーク」の存在をとても心強く感じています。

住友林業株式会社発行
「まなびの森」
20周年記念冊子



巻頭インタビュー

住友林業株式会社
サステナビリティ推進室長

飯塚優子さん

富士山の魅力に触れる キッカケづくり

入会のきっかけと富士山 「まなびの森」について

行くんだ」という気持ちで活動をしています。

「まなびの森」と「ふじさんネットワーク」は同時期の発足なので、ほとんど同じ歴史を歩んできていると思います。私が初めて、「ふじさんネットワーク」の幹事となった当時は、自分たちの活動で手一杯で心の余裕もありませんでした。幹事会にも、最初の2年ぐらいは今ひとつよく分からないまま参加していたというのが正直なところですが、しかし、参加しているうちに「これはすごく大事なことをやっている団体だから、名前を単に連ねているだけではなく、もっと積極的にならな

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2020.2

vol.

60

CONTENTS

- 03 「巻頭インタビュー」
富士山の魅力に触れる
キッカケづくり
住友林業株式会社 サステナビリティ推進室長 飯塚優子さん
- 05 マックスバリュ東海株式会社様、
ハーゲンダッツジャパン株式会社様からの
寄付受納
- 06 富士山をもっとキレイに!
令和元年度 第2回ごみ減量大作戦
富士山エコレンジャー養成研修と
今年度上半期の活動報告会
- 07 外来植物除去作業を行う際に
御活用下さい!
新しい募金返礼品(手拭い)の
デザインが決定しました!
- 08 「ふじさんネットワーク」
会員募集中!

表紙の写真



薩埵峠(静岡市)

写真提供: 静岡県観光協会

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

マックスバリュ東海株式会社様、 ハーゲンダッツジャパン株式会社様からの寄付受納



▲記念撮影。中央が増澤会長、向かって左隣が伊倉支店長、右隣が野尻部長



▲野尻部長から寄付金目録を受納

本年度も、昨年度に引き続き、マックスバリュ東海株式会社様及びハーゲンダッツジャパン株式会社様から、御寄付をいただきました。寄付金の受納式は、12月4日(水)に静岡県庁において執り行われました。

マックスバリュ東海株式会社からは、

野尻経営企画部長が、ハーゲンダッツジャパン株式会社からは、伊倉営業本部名古屋支店長が来庁されました。受納式では、ふじさんネットワークの増澤会長に対し寄付金目録が贈呈されたのち、増澤会長から両社に、寄付金に対する感謝状が授与されました。

受納式のあとに行われた懇談会では、はじめに、会長から寄付金への深い感謝の意が伝えられました。富士山を取り巻く自然環境の変化、とりわけ外来植物対策が急務であることについての話題提供もあり、活発な意見交換が行われました。また、寄付金を活用して作成した冊子や、啓発グッズ等についても

紹介をしました。いただいた寄付金が富士山の自然環境保全のために有効に活用されていることを確認していただけたと思います。両社からは、これからも富士山の環境保全を推進し、そのため



▲伊倉支店長へ感謝状を授与

に寄付金を役立ててほしい、と、ふじさんネットワークへの強い期待が寄せられました。

両社からは、これまでもふじさんネットワークに多額の御寄付をいただいております。今回の寄付で、マックスバリュ東海株式会社様からは計16回、ハーゲンダッツジャパン株式会社様からは計6回の御寄付となりました。ふじさんネットワークが、官民協働で富士山の環境保全に取り組んでいることを評価していただいています。寄付金は富士山の環境保全のために、有効に活用させていただきます。



▲受納式後の懇談会

と「ふじさんネットワーク」と企業の協力がますます大切になってくると思います。いま、弊社のボランティアイベントには、社員やご家族、ご友人が全国から来てくれています。できればもっと、地元の人自分から直接富士山の活動に関われるようになればいいと思います。私たちの開催するイベントに参加していただくことで、仕事とは違う喜びや



▲ネイチャーガイドによる天然林散策

達成感を感じる。そうしたきっかけを上手に作り「これだったら是非うちの社員にも声をかけてみよう」となるように工夫していきたいと思っています。

▼社内ボランティア活動でのあいさつ



ろうというアクションにつながっていくのではないのでしょうか。

今後は海外の方とか、一生に一度しか来れない方が「ふじさんネットワーク」に入会し、ずっと富士山を応援し続けられるような仕組みができたらおもしろい、と思います。例えば「ふじさんネットワーク」に入会してくれた方に会員証の代わりにバッジを配布してはどうでしょうか。メンバーの一員感が出るのかなと思います。「富士山では、こういう団体があつて、こんな活動をしているよ」という話のきっかけが少しでも増えていくと個人の会員が増えていくと思います。なかなか普段は活動に参加できないい

れど「遠くから応援しているよ」という心の繋がりを象徴できるアイテムだといえます。

これからの活動について

私たちが富士山「まなびの森」で2019年から行っている樹木調査には一般の方にもぜひ参加していただきたいと思っています。富士山の中にもっとどのような樹木があったのか、20年前に植えた広葉樹がどういう風に育ったか、ということろをぜひ知っていただきたいです。

富士山にはとても豊かな自然があります。「まなびの森」は環境学習教育としても利用され、富士宮市の小中学生が年間約1,000名ほど訪れています。

「木や森がどんなに大切なのか」ということを「番気づいて」だけの場所だと思わず、日本が世界に誇る富士山で活動できることは本当に幸せなことだと思っています。これからもいろいろな方と協力してずっと活動を続けてい

住友林業株式会社
サステナビリティ推進室長

飯塚 優子氏

大学卒業後電機メーカーに入社、スピーチライター、広報、渉外やIR・CSRなど、主にコミュニケーションに携わる業務を担当。外資系企業でCSR、広報などを統括するコミュニケーション本部長を経て2012年2月住友林業入社。コーポレートコミュニケーション室で広報、CSRの責任者を務めた後、2015年4月より現職。SDGsと連動した中期経営計画サステナビリティ編の策定・推進やISO14001事務局として環境管理などを行うほか、木材調達、SRI対応、サステナビリティレポート発行、植樹活動などの社会貢献プログラムを担当する部署を統括している。2017年2月よりスーパーグローバルハイスクール宮城県立気仙沼高校の民間指導委員。



ければいいな、と思っています。

これからの「ふじさんネットワーク」では、メンバーの方が自分でアクションを起こすだけでなく、まだメンバーになってない人達に向けてのPRを担う立場として活動内容を発信することで、もっとネットワークの輪が広がっていくと素晴らしいですね。

外来植物除去作業を行う際に御活用下さい!

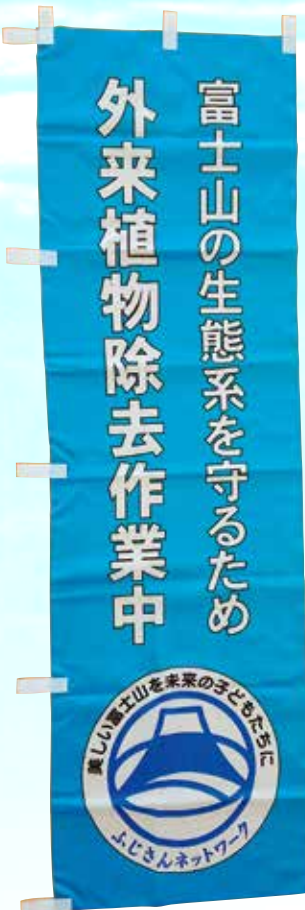
近年、富士山周辺では多数の外来植物が確認されており、その対策が急務となっています。ふじさんネットワークでも、「外来植物撲滅大作戦」と称した抜き取り活動を実施していますが、それでも、外来植物の脅威は徐々に広がっています。少人数での活動は限界を迎えており、地元団体や企業の御協力が不可欠です。

そこで、ふじさんネットワークでは、会員が外来植物の除去活動をする際に利用することができる、「ピブス」と「の

ぼり旗」を作成しました。富士山をイメージした青色を基調としたデザインです。活動時の安全確保に配慮すると共に、団体や企業が活動を周囲にアピールできるようにしました。

ふじさんネットワークでは、このほかにも、根起こしや根切りなどの作業道具を用意しております。会員の方が外来植物除去活動を実施する場合には、ピブスやのぼり旗と併せて貸与することが可能ですので、事務局までお問い合わせ下さい。

活動実施中に着用するピブス



▲活動を周知するためののぼり旗

富士山をもっとキレイに! 令和元年度 第2回ごみ減量大作戦

▼沿道でごみ拾い

10月26日(土)に、本年度第2回目のごみ減量大作戦が開催されました。今回は裾野市の国道469号線沿線において、ふじさんネットワーク、静岡県、裾野市及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会の4者共催で実施しました。

当日は晴天に恵まれ富士山がキレイに見えるなか、公募されたボランティア55名が参加しました。回収されたごみは、可燃ごみ80kg、不燃ごみ110kgの計190kgであり、一人当たり約3.5kg

のごみを回収することができました。また、今回の参加者には、会場に隣接した裾野市立富士山資料館に無料で入館できる、当日限り有効の参加者カードを配布しました。参加者は、清掃活動のあと、資料館で富士山に関する知識に触れることができ、大変有意義な啓発活動となったのではないのでしょうか。

ごみ減量大作戦は今回で30回目となり、参加ボランティア数は延べ1,976人、累計ごみ回収量は12,730kgとなりました。御協力ありがとうございます。



▲拾ったごみはしっかりと分別

記念撮影▶



新しい募金返礼品(手拭い)のデザインが決定しました!

これまで、ふじさんネットワークの活動を応援し、募金をいただいた方には、返礼品としてピンバッジを配布していました。今回、これに代わる新しい募金返礼品を作成すべく、ふじさんネットワークの正会員宛て要望調査を実施しました。多くの意見が寄せられた結果、募金に対する新しい返礼品は「手拭い」に決定しました。

デザインは、ふじさんネットワークの正会員である「JAGDA静岡」に所属

するデザイナーの皆様提案していただきました。

デザイン選考会として、1月16日(木)に臨時の幹事会を開催しました。当日やむなく欠席された幹事には、事前に資料を送付し、紙面による投票とさせていただきます。5つのデザイン案について議論を交わした結果、最優秀賞は木村幸男氏の「湖面に映える逆さ富士」をモチーフにしたデザインに決定し、優秀賞は小杉和己氏、前田三根男

氏に決定しました。最優秀賞は、手拭いとして製品化されます。

3月20日(金)に開催されるふじさんネットワークの総会において、手拭いのデザイン発表及び最優秀賞と優秀賞の表彰を行います。また、総会後の勉強会では、JAGDA静岡の代表である前田三根男氏を講師として、富士山のデザインに関する御講演をいただきます。



▲手拭いデザインの選考



▲デザインの採点

富士山エコレンジャー養成研修と今年度上半期の活動報告会



▲「ロールプレイ」研修の様子

富士山エコレンジャーは、富士山の環境を守るふじさんネットワークの実動部隊です。富士山憲章を行動規範として、主に来訪者へのマナー啓発や自然解説等を行っています。エコレンジャーになるためには、富士山エコサポーターに登録して、規定の研修を受けることなどが要件となっています。

11月23日(土)に行われた研修では、

エコレンジャー7名と、エコサポーター2名が出席しました。当日行われた「ロールプレイ」研修では、エコレンジャーが仮想の来訪者役を演じ、それに対してエコサポーターがマナー啓発をおこなうという研修を行いました。事務局では今後も、エコレンジャー養成の為に、様々な研修を行っていきます。

午後は、今年度の夏の活動を振り返

る上半期の活動報告会が行われ、出席者が順番に自身の活動について報告すると共に、反省点を共有しました。今後の富士山エコレンジャー活動をより効果的に進められるよう、一致団結した報告会となりました。



▲「ロールプレイ」研修の様子



▲上半期活動の報告